

大阪府医療勤務環境改善支援センター「運営協議会」議事概要

- 1 開催日時：平成28年10月24日（月） 午後4時～午後5時
- 2 開催場所：大阪府病院年金会館 4階 中会議室
- 3 出席委員：12名（委員定数12名、定足数12名であるため有効に成立）
馬場委員、坂本委員、福原委員、生野委員、山本委員、小野委員、児玉委員、
飯田委員、上田委員、下岡委員、中原委員
*馬場委員は2団体を兼務、飯田委員は代理が出席
- 4 議事
 - ・平成28年度「大阪府医療勤務環境改善支援センター」の活動状況中間報告について出席委員により、活動状況中間報告について了承された。
- 5 報告事項
 - 1 平成28年度活動計画の基本的な考え方について
 - 2 各事業の取組内容について
 - (1) 相談対応業務
 - (2) 研修会の開催
 - (3) 調査・事例研究等
 - (4) 支援センター事業のPR
 - (5) 運営協議会の設置、運営
 - (6) 医療労務管理支援事業（大阪労働局委託事業）等との連携
 - (7) 公民連携による各種事業の充実

平成28年度 大阪府医療勤務環境改善支援センター 活動状況

1. 28年度活動計画の基本的な考え方

【28年度当初計画】

- 平成28年度においては、個別支援事業に重点的に取り組むこととする。
- 中小規模のモデル病院を選定し、継続的に支援することで、勤務環境改善計画策定のモデルを創出することをめざす。

- 支援センターで、5月に200床未満、療養型病院の候補の中からモデルとなる2病院を設定し、先方側の意向や希望を確認し、同意承諾を得たうえで、支援活動に入る。
- まずは、病院の状況把握、院長・理事長や病院管理者の理念や志向、現状課題の抽出などの方向から病院管理者との面談に入る。

<重点施策・・・個別支援事業 9月20日現在の支援状況報告>

- ① 島田病院（羽曳野市）：3回訪問
 - ・訪問員：茶木、浅田相談員、金子監事、日本経営植田氏、大阪府 大河内課長補佐、佐藤総括主査
- ② 新仁会病院（和泉市）：5回訪問
 - ・訪問員：吉村、田口相談員、金子監事、日本経営植田氏、大阪府 大河内課長補佐、本田副主査

今秋以降も継続して訪問し、マネジメントシステム導入への継続的支援を予定

2. 各事業の取組内容

(1) 相談対応業務

【28年度当初計画】

- 下記の体制で相談事業を実施する。あわせて、出前（巡回）相談を実施する。
 - ・センター長：馬場記念病院理事長・私立病院協会副会長 馬場 武彦
 - ・相談員：島田 永和、鹿島 洋一、海北 幸男、浅田 俊勝、松本 力、田口 義丈、茶木 隆子
 - ・社会保険労務士：吉村 孝仁
 - ・監事：金子 明嗣
 - ・事務局長：大阪府私立病院協会事務局長 竹内 博

- 今秋以降も、28年度当初計画の相談体制を継続予定

相談件数： 8 件（8月末現在）

(2)研修会の開催

【28年度当初計画】

○病院管理者を対象とした研修、各病院の勤務環境改善担当者を対象とする事例演習型研修など、ニーズに応じて4回程度の研修会を開催する。

<病院管理者向け研修（2回）>

- ・大阪労働局との共催による研修を含む
- ・研修の内容及び日程等については今後調整

<担当者向け事例演習型研修（2回程度）>

- ・グループワークによる事例演習型の研修
- ・個別支援の対象病院を中心に

<病院管理者向け研修・・・3回に変更予定（1回目は実施済み）>

- 第1回目：大阪府医療勤務環境改善支援センター、大阪府私立病院協会、大阪府看護協会
合同研修会

第1回大阪府医療勤務環境改善シンポジウム

「～勤務環境改善に向けた取り組みを進めよう～」

- ・第一部 事例発表「勤務環境改善の取組事例」
- ・第二部 パネルディスカッション

「医療勤務環境改善に向けた取り組みを進めよう」

日時：平成28年6月27日 14時～17時

会場：池田泉州銀行梅田ビル 12階ホール

参加者：94医療施設、134名

当日アンケート結果より、「参考になった」が80%強で概ね好評

- 第2回目：11月末～12月初旬に開催予定

- 第3回目：平成29年3月頃に、大阪労働局主催の研修会を予定

- ・昨年の実績（行政からの法律講演、病院好事例報告、シンポジウム）を踏まえ実施内容を協議の予定

<担当者向け研修・・・1回に変更予定>

- 個別支援対象の2病院で実施できるかを、病院の意向と照らし合わせながら検討予定

(3)調査・事例研究等

【28年度当初計画】

○中小規模病院の好事例を中心に、当支援センターの特色であるピア・カウンセリングの取組に必要な事例収集を進める。また、27年度に実施した「病院の勤務環境改善に関するアンケート調査」について分析を行うとともに、支援センターの各種事業に対するニーズを把握するため、アンケート調査を実施する。

- 中小規模病院の好事例を中心に、当支援センターの特色であるピア・カウンセリングの取組に必要な事例収集を進めている。
- 昨年実施したアンケートの集計途中報告
 - ・6月27日の第1回研修会パネルディスカッション内で報告。また当日の印刷資料にも集計結果概略を記載。
 - ・現在、統計分析の手法を使った分析報告を実施するかどうかを、専門家を交え検討中。

(4)支援センター事業のPR

【28年度当初計画】

○センターの認知度を高めるため、医療関係団体等にも協力を求め、既存の広報媒体、会議等あらゆる機会を活用し、医療機関に対して支援センターの周知を図る。

- ・ホームページの充実・更新（好事例や相談事例の掲載）
- ・厚生労働省ホームページ「いきいき働く医療機関サポートWEB」との連携

- ホームページについては、WEB業者に発注し、内容、デザインとも一新する予定（今秋公開予定で進行中）
- 支援センターの広報パンフレットを作成し、研修会等の開催時に配布し周知を図る。
- 支援センターの案内を掲載した「大阪府勤務環境改善セルフチェックリスト」を作成し、第1回大阪府医療勤務環境改善シンポジウムにおいて配布するとともに、各保健所が実施する立入検査説明会時においても配布した。

(5)運営協議会の設置、運営

【28年度当初計画】

○医療勤務環境改善に関する課題の共有を図るとともに、支援センターの運営方法等も含めた課題解決方策の具体化、効果検証などについて協議するため、運営協議会の設置・運営を行う。

・構成メンバー

医療関係団体（医師会、府病院協会、私立病院協会、医療法人協会、精神科病院協会）、看護協会、社会保険労務士会、日本医業経営コンサルタント協会府支部、大阪労働局、府健康医療部

- ・年2回程度開催（開催時期は年度半ば、年度末を想定）

- 月例で、支援センター会議を開催し、事業の進捗状況を確認し、課題の共有を図った。引き続き、支援センター会議を開催していく。
- 今年度の第1回運営協議会については、9月20日（火）16時より大阪府病院年金会館・中会議室で開催
- 第2回目は平成29年3月に開催を検討中

(6)医療労務管理支援事業（大阪労働局委託事業）等との連携

【28年度当初計画】

○大阪労働局から受託する医療労務管理支援事業と連携するとともに、大阪府看護協会のWLB事業との連携により、当支援センターの各種事業の充実を図る。

<医療労務管理支援事業>

- ・社会保険労務士（1名）がセンターに常駐
- ・主な事業内容
医療機関を対象とする個別支援事業、相談対応業務、研修会の運営業務等

- 大阪府看護部長会からの依頼を受け、5月10日大阪府病院年金会館・コンベンションルームにて、大阪病院保険サービスと共催でストレスチェックセミナーを開催
 - ・参加看護部長：64名
- 大阪府看護協会と連携し、「WLB推進モデル事業」を実施し、医療勤務環境改善に向けた相談・支援を行う。
 - ・対象病院：ペガサスリハビリテーション病院

(7) 公民連携による各種事業の充実

【28年度当初計画】

○平成28年3月29日に締結を予定している「医療機関における医療従事者の勤務環境改善等への取組支援に関する協定書」に基づき、大阪府、大阪府私立病院協会、東京海上日動火災保険株式会社、池田泉州銀行の四者の連携により、研修事業等の充実を図る。

- ・医療勤務環境改善マネジメントシステム講習会等の実施の協力
- ・支援センターの取組みにおける広報周知の協力 ほか

- 平成28年3月29日に締結した「医療機関における医療従事者の勤務環境改善等への取組支援に関する協定書」に基づき、「第1回大阪府医療勤務環境改善シンポジウム」を6月27日に開催した。